

**【2回目 16時～】**

**1. 開催趣旨〈企画財政部長〉**

- 今回の説明会の開催趣旨でございますが、山本景市長が市長就任時に掲げた、第一中学校における小中一貫校ではなく小中別に整備するとの方針のもと、現契約の受託事業者である戸田建設等との協議を踏まえた検討状況につきまして、昨年12月に市民説明会を開催させていただきました。
- その他、地域や関係団体の皆さんへも説明や意見交換をされ、これらを踏まえて新たな提案を取りまとめ、市議会へもお示しをしましたことから、本日、山本市長より提案内容についてご説明をさせていただくものでございます。

**2. 市長からの説明〈市長〉**

皆さん改めましてこんにちは。日曜日という一般的な休みの日で、夕方という非常に出にくい時間帯であるにも関わらず、説明会を開催いたしましたところ、お集まりをくださいましたこと、まず深く感謝を申し上げます。

本日の説明会に至りました経緯について、改めて私より説明を申し上げます。皆さんもご記憶だと思いますが、過去、前市長の時代に施設一体型小中一貫校を一中校区にて企画、推進がなされた次第でございます。

その中で保護者、地域の方や様々な方も含めて、その動きに反対する声や動きもありました。まず議会では住民投票の実施について、約2年前に議会に対して提案がなされております。約2年前の春におきましては、直接請求にて、あるいは署名を集めて、住民投票ができないかという動きもありました。最終的に議会にて否決されましたが、そういった動きもありました。

そして、約1年前の12月の議会におきましては、戸田建設等のグループと施設一体型小中一貫校の建設ということで仮契約が結ばれて、議会に提出がされ、議決がされたということもございます。内容はデザインビルドということで、本来ならば建設契約や工事契約は分離ですが、近年の試みとしてデザインビルドという、設計や工事等を一体型にする発注手法。発注手法そのものは違法とかではないけれども、本市においてそういう試みが行われました。

そもそも違法とか不当とかそういう話はございませんが、政治的には私といたしましては、前市長の任期を考えますと、施設一体型小中一貫校の設計と建設は、おおむね3年かかります。うち前市長の任期が半年、次の市長の任期が2年半、結果的に私が選ばれましたので、私の任期が2年半ということを考えると、本当だったら交野小学校の解体と設計の部分、その後の小中一貫校の建設部分については、分けて発注をする。また、市民の皆様の住民投票や、もしくは交野市長選挙等にて、民意を仰ぐべきだったと私は今でも考えております。ただ、そうはなりませんでした。

そのような中、最終的に様々な経緯もありましたが、昨年9月の市長選挙に私も立候補し、5つの主な公約とその他もろもろ掲げてはおりましたが、うち3番目の小中一貫校に関しましては、小学校と中学校と分離をするということを掲げて、市長選挙にて当選をしております。5つのうちの1個やから、別にそれだけで通ったわけじゃないとは言われる方もいらっしゃいますけれども、当然公約は公約でございます。民意だと私は理解をしておりますし、別にその考え方は今も同じですし、今後もその考え方自体は変わるものではないというふうに考えております。

皆さんもご承知のとおり、昨年9月18日に市長として就任をいたしまして、9月20日に交野市役所に初めて初登庁いたしました。その日のうちに、戸田建設等のグループに対しまして、施設一体型小中一貫校の契約を変更したいということで申し出をいたしました。

その後の協議を受けて、皆さんもご承知のとおり、昨年12月に一旦市民説明会を2回にわたり、本日と似たような形式で開催をいたしました。開催した後に、保護者の皆様に対しましても説明会を実施し、様々な意見も聞きました。そうした中、保護者の方が自発的に保護者のアンケートも実施をされました。

過去2年前の小学校の統合前にアンケートを実施もされております。その際のアンケートでも小中一貫校に対しては、不安や否定的な意見の方が圧倒的に多かった。今回12月の段階で、保護者の方が実施をしたアンケートにおきましても、小学校が既に統合がされて、交野小学校の取り壊しが終わった中ではありますが、一貫校に対しまして反対をされている方が一番多く、ただ一貫校の賛成、反対、どちらかわからないにつきましては、おおよそ三つぐらいに割れている状況でございました。

これまで交野市、教育委員会におきましては、多大な時間と労力をかけて施設一体型小中一貫校に関しまして、取り組んでまいりましたが、市民の皆様の思いや保護者の思いというのはそういった状況なのだと、私は今でもそう強く考えております。

ただ保護者のアンケートに関しましては、保護者によりますと私に提出をして、公表は基本的にはしませんということでしたが、なぜか学校側にて集計がなされておりました。私は、いただいたアンケートについては全て拝見させていただきました。反対されている方の意見を見ますと、保護者の方の意見としては私がよく言っている、高いじゃないか、とかそういった意見は実はあんまりなくて、おおよその意見といたしましては、グラウンドが狭いであったり、プールが敷地内にないであったり、なぜ小中が一緒なんだろう、といった状況でございました。

一方で議会を見渡しますと、我が国においては2元代表制でございます。私においては間違いなく、皆様もご承知のとおり小中分離ということで、公約を掲げて当選はしておりますし、その後の所信表明におきましてもそれにのっとった重点政策を掲げております。そのことは皆様も十分ご承知だとは思っております。

ただ、例えば市役所については移転しませんと掲げました。私はどうするかといえは、市役所の移転に係る条例、もしくは新しい市役所を建設する予算を議会にそもそも出さないというやり方で対応ができます。水道料金の値上げ凍結に関しましても、値上げしたら補助金がもらえるということが、後からわかったっていうのはありますけれども、少なくとも本年の4月からの値上げについては公約通り1年間値上げは凍結する。関係する水道料金に関する条例を議会に出さない、というやり方で対応しています。

ただ、小中一貫校のこととなりますと、もう既に施設一体型小中一貫校を建設までやるということで、議会の議決を得ておりますから、ここは市長側から議会に対して提案変更するというところで、変更契約の提案をし、議決をしなければ契約は変更ができない。何もしなかったら今のまま工事が進むという状況で、今の議会の皆さまとも当然お話しはしていますけれども、なかなかしんどいという状況にあります。こうした中であって、私におきまして新たな提案に至った次第でございます。

なお提案はいたしますが、その提案に決まったというわけではなくて、これまでの施設一体型小中一貫校の話、そしてまた小中分離の話も、そして今回新たな提案もそれぞれあり、改めて皆様のご意見は伺う。伺ってその場で決めるとか、また明日の説明会で決めるとかいうことではなく、また保護者の皆様のご意見を伺って、議会の皆様のご意見、ご判断を伺い仰いで、そして最終的にどうするのかを決めるという流れになるのかなと考えております。そうした中での新たな提案に関しましての説明をいたします。

皆様のお手元に黄色の紙をお配りしております。開いてもらうと、まず初めにグラウンドが狭いことという記述がございます。施設一体型小中一貫校の反対の理由のところ、グラウンドは狭い、またおおよそ一校分だということがございます。敷地の拡張に関しましては、やはり私としても非常に重く受け止めております。本来だったら二校分もあった方がいいと思っております。

現在その敷地の拡張に向けまして、様々な関係の皆様と協議を行っております。ただ、今の施設一体型小中一貫校の建設と全く同じ時期で終わるとというのが、なかなか厳しく、地権者との協議もありますことから、2期工事として提案としては進めざるを得ないという状況でございます。その間、子どもたちに我慢をさせるというわけにもまいりませんから、周辺の施設の利用状況、とりわけいきいきランドの利用状況の確認をいたしました。平日の昼間となるとほとんど使われておりません。平日の昼は子どもも使えませんし、またご高齢の方々もなかなか少ない。土日や夜の時間帯の利用が非常に多いですが、そういった実態を考えますと、やはりいきいきランドなどのグラウンドや私部公園、そういったところを中学生が使うのは有効な解決策だと思っております。

なお一中については、跡地利用、跡地の整備とかもあるので、必ずしも使えるというわけではないと考えております。

続きまして、プールに関してでございますけれども、皆さんも小学校、中学校のプールについては敷地内にあったと思います。私も交野市内の小学校、中学校に通っておりますけれども、プールありましたし、今もその学校に行ったらプールはあります。今はもうボロボロになっているというのが実態でございますが、やはり反対される保護者の方からすると、あるのが普通でなんでないんだ、というご意見が多いのかなと思っております。

運動場にプールを建てるとなると運動場が狭くなる。土地を新たに買ってプールを建てたら、買った分の土地がプールで消えると、それだと何をやっているのかという話になるでしょうから、校舎の上でまず考えましたが、重量とかの関係でそちらも厳しいということが判明をいたしまして、また体育館の上についても斜線規制、日陰とかの関係もあり、体育館の上ですらプールの建築は難しいということがわかりました。

そのため、一旦いきいきランドのプールを利用するものの、他の小・中学校には指導員の派遣は考えたいと思っておりますが、まずは一旦いきいきランドを利用しつつ、将来的に時間は別途かかりますけれども、他の土地にて温水プール等を整理して、これは交野市内の他の小・中学校のプールの維持管理におきましても教員の負担が極めて大きい、もしくは維持管理のところが老朽化しているところを建て替えるにも非常にお金がかかる。

修理するのも非常に手間がかかり、学校の負担も大きいこと、そしてまた一中校区だけ温水プールで他の学校は普通のプールというのは、不公平であるといったこと、そしてまた民間のプールとなりますといつまでそのプールがあるのかということにもなりかねませんので、トータルで考えますとやはり市として一定プールについては施設を温水で整備をして、みらい学園からいきいきランドへの徒歩での移動に関しても不安に思っている保護者の方も多くございますから、バス等を利用をして、そういった市が建設をした温水プールを、時期を分けて利用するということを検討していきたいと思っております。

そうすることにより、いきいきランドの温水プールを利用されている、とりわけご高齢者の方をはじめとした既存の利用者の皆様に、悪い影響を与えないと思っている次第でございます。

小学生と中学生が一緒に校舎で学ぶことに関しましては、様々な意見があり非常に難しいところがあります。小学校と中学校とは別で保護者の方も学校に通われた方が多いと思っております。私といたしましては、そういった様々な課題に関しましては教育委員会と相談をしながら一つ一つ解決はしていきたいと思っております。やはり継ぎ目の部分がないのでリーダー性がないといった懸念があることに関しましては、前期の修了式を行うとか、教員について校長は1名だけでも副校長をつけたりとか、様々な工夫をして解決をしていきたいと思っております。

設備面では保健室に関しまして、確かに部屋は一つだけでも、二つに実質分けられて、複数の保健の先生はいるといった配置にしたり、下足場に関しましてもこれまでのご指摘を受けまして、小学校の1、2年生については別にしているとか、そういった配慮については、様々な市として既にやっております。今後も様々な皆さんのお知恵なり、ご意見を踏まえて考えていきたいと思っております。

なお、トイレに関しましては、非常に古くなっております。別に交野小学校、そして今の現みらい小に限った話じゃないですが、古くなっております。今回、分離しようが、今回提案をしている一貫校をベースとした新たな提案となろうとも、いずれにしても最新式のものになります。

避難に関しまして、かなり懸念をされているということもお伺いしておりますけれども、建物自体が今ある交野市内にあるどの小中学校よりも頑丈な作りとなっております。そもそも避難の必要性がどこまで発生はするのかとは思っております。一定規模が大きい学校とはなりますが、配慮した作りに対応しております。私といたしましては、建物は一つで二つに分けて建設、併設型にできたらと思っておりますけれども、既に基本設計は終わっており、実施設計につきましてもほぼ終わっているという中なので、そこまでの見直しというわけにもまいりませんけれども、そもそもの構造といたしまして、チャイムについても一定切り替えとかの対応はできている。

また中学生がいる場所と小学生がいる場所については、渡り廊下が間にある等の一定の対応については、なかなか反対をされている方には納得がいかないと思うところもありますけれども、対応はしている状況でございます。

保護者以外の方が不安に懸念されているお金の件ですが、負担のところに関しまして今回イレギュラーが発生をいたしました。これまでだったら、交野市内の小・中学校は既に耐震工事を行っているため、建替えをしても国庫補助金があまりもらえないという事実がございましたが、文部科学省との協議も経まして、今回、旧交野小学校の面積の部分、本来国庫補助金がもらえないということでございましたが、その分の面積も国庫補助金がもらえることとなりましたので、5ページに記載のとおり、6億円と当初想定をしていた国庫補助金につきましても、約18億円程度にまで増額をする見込みでございます。

結果をといたしまして、小中一貫校の今回の新たな提案部分の市の負担が一番少ないという結果に至りました。なお、私といたしましては、もし交野小学校の建物がそのまま残っているのであれば、そちらの改修や増築で済ませたい。それでやった方が10億円程度で済んだとは思っておりますけれども、こちらの考えについてはもう既に交野小学校の取り壊しの工事が終わっておりますので実現はできません。今できるところで様々な考えはできるのではないかとということで、教育委員会と私とで議論をして検討いたしまして、本日の資料を作成をするに至った次第でございます。

根本的には私は一貫校に関しましては、今の時点におきましても反対の立場でございますし、選挙のときも反対の立場でございました。今後も反対の立場であるということに何ら変わりありません。一方で、当然教育委員会はこれまでも、そうして現在も、小中一貫校には賛成の立場でございます。

立場は違えども、もう今置かれた状況の中で子どもたちや地域、保護者の皆様に、じゃあどうすればいいのかということで様々な考えた次第でございます。

なおスケジュールに関しては、6ページに記載のとおり、今回の提案の部分に関して申しますと、令和7年4月の開校というところは変わらず、ただし、敷地の拡張の部分については1年程度遅れるものと考えます。

またプールを別途設置するとなると、例えば一中で建てるとするならば、令和6年度、次はもう令和5年度ですから、その1年後ぐらいから設計に着手をすることとなりますので、それ以降の整備になるのかなと、一旦校舎のうち、東館といわれる一番古い建物とプール部分を取り壊して当該部分に一旦温水プールを設置する。また周辺に駐車場や道路を設けて、私部公園全体のアクセシビリティや駐車場の整備を図るといった対応が必要になる。また、一中の側の西側の道路が一部狭隘、直線でないといった問題もあります。そういった課題もやはり解消する必要があると考えている次第でございます。

メリット・デメリットのところでは、こちらで考えられる範囲で記載をいたしました。小中一貫教育については、やはりデメリットのところでは小学校の高学年のリーダー性のあるところの懸念は頂戴しておりますが、市として教育委員会とともにできる限りデメリットは生じないようにしたいと思っております。校舎の部分に関しては、やはり同じ建物の中にあるということで不安に思われている方も多いたと思います。これまで皆様のお声に耳を傾けて、下足場を分け、トイレに関しては元々基準の数については満たしている状況でございます。保健室についても一定面積を広く、かつ職員室からもそれほど遠くない場所に配置をし、また一定小学生と中学生とで、間仕切りできるとかそういった対応については、設計段階で実施をしているところでございます。

市といたしましては新たな提案の中におきまして、これまで様々なご指摘を含めての改善を図れたらと思っている次第でございます。

以上、今回の新たな提案の説明となります。私といたしまして現時点でこの新たな提案も含めまして、従来の小中一貫校の建設、また前の説明会で説明をいたしました小学校だけ建設をして一中を改修するという、それら三つの案が現時点におきまして、並存をしている中であります。

この時点におきまして、もうすでに議会には一旦説明をしております。そして校区福祉委員会にも別途説明をいたしました。そして本日、明日の夜に市民の皆様にも市民説明会ということで説明をいたします。また、来週には週が開けましたら保護者の皆様にも説明をする予定でございます。そういった様々な機会を設けて色々な方のご意見をお伺いする予定となっております。

議会に関しましては2月15日に議会運営委員会が開かれる予定となっておりますので、議案等にて一定議員の皆様のご意見を伺う予定としております。最終的にその議会の判断が出るのは、3月になると思っております。

3月で一旦議会の判断が出た、そう遠くない時期におきまして最終的にどうするのかを市として教育委員会といたしまして、決定をする予定でございます。

以上、私からの説明といたします。

### 3. 質疑応答

〈市民1〉

まず質問する前に、今日の説明会の議事の進め方について要請をしたいと思えます。今日の午後2時からやられた説明会、1時間で終了していませんか。本来、説明会というのは市民にわかりやすく、納得できるように説明をするというのが、趣旨だと思うんですよ。

今日の市長の提案時間、4時から始まって25分ですよ。それで市民の説明会30分じゃないですか。これで十分な説明をやったということが言えるんですか。

もう少し市民に対して、謙虚に懇切丁寧な説明会を開催していただくよう、改めて議事の運営について要請をしたいと思えます。

〈市長〉

1人1問という中でありますけれども、ご質問を賜りましたので回答をいたします。市といたしましては、本日私が教育委員会もしくは企画財政部等に対しまして依頼いたします、説明会を開けないかということで、開催に至った次第でございます。回

数等もございますことから、3回にわたって説明をいたしました。できましたら幅広い市民の皆様が参加をして、特定の方に発言が偏ったり、もしくは特定の方の持論を述べるようなものでは、それでは他の普通に來られている方、市民の方が発言はできないという懸念がありましたことから、こういった議事整理の都合上そういった対応とさせてもらった次第でございます。

単純に質問と回答だけだったら、1分とか2分とかそれぐらいの時間でできるのかなと思っている次第でございますので、そうしたことを総合的に勘案いたしましたところ、こういうこととなりました。

なお、別途校区福祉委員会や総合教育会議、もしくはPTAの説明会とか、ここに限らない説明会についても設けておりますし、もしくは地区で説明会を開いてくれということでしたら、当然そちらでも開催はするつもりではありますので、幅広い方、特定の方が何度も手を挙げて似たようなことを長時間にわたって自説を述べるというのは本来の市民説明会じゃなくて、ごくごく一部の方に対しての説明会になってしまい、公正公平にあるべき、というこれ私の政治信念でございます。そういったことも含めて、こういった対応をいたしましたことで、ご理解を賜りますようお願いいたします。

#### 〈市民2〉

市長は公約実現に向けて努力されているということで、ぜひ頑張っていたきたいと思えます。

質問時間のことは私も思いました。1時間で説明30分だったら質疑応答30分になっちゃうと。確か黒田市政のときに、教育委員会主催でしたけど、2時間取っていたので、説明30分の質疑応答90分取れたんですよ。ぜひこの点は考えていただきたい。

その上で今日の説明の文書が配られましたので、それに沿って最後質問をしたいなと思っております。一つグラウンドが狭いということで、隣接地を取得と書いています。これ隣の地主さんって単に売りますじゃなくて、かなり無理難題の条件を言われていると聞いたんです。教育委員会がというような空手形に、市長さん騙されないでいただきたいと思えます。これ黒田さん時代からも話が出ていたということを知ったので、どこが新しい提案ですかと私は思います。

それからプールがないこと、ここにね、検討、検討、検討、検討、検討って5つもあるんですよ。市営プールに行くのにバス利用するのは、市長さんだったら予算配置す

ればできますよね。ですから、こうしますという形で提案をいただきたい。今後検討しますっていうのは、残念ながらちょっと提案として難しいんじゃないか。

〈市長〉

複数質問がありますので、最初に質問をされたところに関してまず私から回答をいたします。なお、過去の説明会、前市長の時代のところで30分90分という話もありました。私も過去に1回それにはちょっと参加をしましたが、残念な話だと思いますが、毎回説明会に同じ方が意見をして延々と似たような話を喋るといっているので、これはちょっと説明会ではないなという思いがありました。

やっぱり普通の色々な市民さんが集まって、それぞれ意見を言うのが本来の説明会ではないのかなと思っています。特定の方が延々と手を上げ続けて質問しまくるのは、ちょっとおかしいと思っております。公平公正ではないと思っておりますので、個別にご対応されたらなと思っております。

グラウンドに関しましては、当然相手方がありますので、喋れることと喋れないこともあります。一定、ご理解を得ているのかなと思っておりますし、やはり私としてはグラウンドのところは非常に懸念をしております。あたかも、もう隣接地しかないみたいな感じの話もありましたが、当然、隣接地が最も好ましいのでそこを優先して協議をすべきだと思いますし、隣接地が不可能でも一定隣接地に近いようなところも含めて、やはり用地の取得は目指すべきだと思っております。

私といたしましては、あくまでこの案での話ではございますけれども、できる限り広い運動場に是正がされますように取り組みたいと思っております。

〈市民3〉

この度、新たな提案ということで、どんどん出てきて、私は非常に混乱しております。グラウンドが狭いから隣の土地買うと言っても、土地買うのにもやっぱりお金はあるし、買うと言ったって買った土地がプールに消えるという話が今ちょっと出たので、ということはプール程度の面積しか買わないのかと。こんなの雀の涙です。えらいお金、隣接地は住宅地並みの土地坪単価だと思うので、ちょっと厳しいのではないかなと。

さらには温水プールを新たに作って、市内全部の小・中学校がその温水プールにバスで通うようにしようとか、またまたお金がかかるし、国の補助金が増えてもこれ

得なのかなという面もありますけど、そもそも市長は小学校と中学校を一緒にするというそのこと自体に反対しておられたような気がします。

ポリシーとして理念として、一体化することが良くないと思っているのでしたら、この4ページ目の意見って何かすごく一体化した方が良さそうなことが書かれてあって、市長考え方変わりはったのかなとか、何か余計混乱しています。

一つ質問として、これ本当に市長からの提案なのか、それとも教育委員会からこういうのが上がってきて、市長こういうのはどうですかって来たのか。自らの発信なのか、他からの発信なのかということをお聞きしたい。

〈市長〉

こちらの作成は主に私がやっております。これは間違いない事実でございます。まったくもって事実無根の発言がありましたので、反論も併せていたします。

本時点におきまして、どれにするかを決めていない。あたかも私が決めたと断言するような言い方は、大変誤解を招くので極めて心外と思っております。この辺の発言はやっぱり注意してほしいと思っております。

なお私におきましては、今の時点、選挙のとき、今後におきましても、施設一体型小中一貫校については反対の立場であって、百歩譲ったとしても施設の併設型とか隣接型にすべきだと思っておりますし、交野市内でそんなに都合のいい場所は今のところないと思っております。

またあわせまして、この交野市における一貫校に関しての状況については、もう既に発言された方についても、ある程度の状況はわかっていると思っております。契約変更には議会の議決が必要です。かつ皆様のお友達やお仲間の方が各議会の会派に回っていると思います。どういう反応を議員の方が示しているのかを、もう十二分に皆さんは理解していると思っております。理解していて、契約変更がどれだけ難しいことなのか、困難なことなのかわかった上で、なぜそう言うのか。私があたかも裏切ったかのような言い方をするとか、心変わりをしたように印象を与えるような言い方をすることは大変理解に苦しみます。

こちらはもう必死になって契約変更できないということで各会派の議員の方には、散々頭を下げて本日まで至っておりますが、なかなか議員の皆様がお考えを変えてくださらないっていう中、運動場が狭いとか、もしくはプールが敷地内にないとか、もしくは近くでも歩いて行かないといけないとか、校舎が一緒に不安だと思っているな

ど色々なご意見があります。それらのある程度、全て完璧にはいきませんが、何とか多少でも是正できる案がないかなと、苦肉の策として教育委員会とも話した上で、今回の提案になった次第でございます。ただそれをもって私が裏切ったのか、もしくは心を変えたっていうのは全くもって話が違ふといわざるを得ません。本来だったらそういったことの不安に関しては、いまだに民意が市長選挙においても示されたにもかかわらず、その気持ちを受け入れてくださらない議会の皆様にぶつけるべきだと思います。

〈市民4〉

私は長年交野市で、教職をしてたんですけれども、4ページの小学校と中学生が一緒に校舎で学ぶことについて、第1の一緒にするっていうことは教師の側の子どもに対する気持ちであって、子どもたち同士がどういう関係で何が起こるかっていうことが抜きになっているんじゃないかと思います。子どものための学校建設でしょ。それなのに子どもの実態を抜きにして、今はもう建設、建設っていうことに走っていることについて、考えて欲しいなと思います。

そして9年間っていうのは、6歳の幼児からちょっと抜けたぐらいの1年生と、15歳の思春期の真っ只中の子どもたちと、この9年間っていうのも爆発的な成長を遂げる時期です。そういうことを学校で勉強したり、運動したりしながら過ごす子どもたちのことを、本当にこういう建設の仕方でもいいのかっていうことも考えては欲しいと思います。

6歳から15歳まで一緒に詰め込むのは、私の経験上やっぱり無理なんです。年代に合わせて仕切りが、絶対必要なんです。だからそういう仕切りを作るっていうことを、一番良いのは別棟を建てるっていう、そういうことも考えられないのかなって、もうここまで行き詰まっているからこそ別棟を建てるのか考えられないのかなって思っています。だから、こういうことをおろそかにすると被害を被るのは子どもたちなんです。子ども同士がぶつかり合ったり、いじめたり、喧嘩したりしながら育ていく子どもの実態を、もっと頭に入れてほしいと思います。

子どもは優しさばかりが育つのではない。良からぬことをやったり、喧嘩したり、そういうことの積み重ねの中で過ごす学校を、どういう形で作っていくか、そういう視点もちょっと考えてほしいなと思っています。

〈市長〉

私より回答をいたします。

もし仮に、現時点で前市長の段階で戸田建設等のグループとの契約が実施設計と解体だけという話ならば、当然私は、もう以降の建設工事はもう絶対締結はしなかったでしょう。基本設計とか実施設計をやった実績はもうなし、という形を間違いなく取りました。

ただ、前市長の時代におきまして、結ばれた契約は解体と実施設計と、そして建設と、大きく分けたこの三つがセットになったデザインビルドという契約でございます。もう約1年前に既に契約は議会で議決されております。市長が提案をして、議会で議決をされた契約でございますので、変更することにも議決は絶対に必要でございます。もしこれを変更できて、小中分離がもしできなくても、せめて建物2個とかそういう建設ができないかっていうことで、できるのだったらやっています。だけれども、そういったことをやったら当然のことながら、これまでの基本設計のところから最低でもやり直しになってしまいますから、その分期間は遅くなってしまいますし、その分違約金とかそういったまた別の話になってしまいます。それをやったところで議会通るのかという話がまた出てくるわけでございます。

そういった中、様々考える中で今回もやむを得ずこういった新たな提案。こういうことを言わざるを得ないという状況であるということをご理解ください。

やはり2年間契約を遅れるのを、1年にできないのかと色々なところに聞いています。戸田建設が、もう1年遅らせるのでいいですよっていう話で言っているのであれば、2年遅れでなくて1年遅れでできたんでしょけど、向こうは2年だと言っています。契約相手というのは、もうすでに決まっております。

残念ながら、もう一度契約を結んでしまうと大変市側が極めて不利な状況である中で、どういう対応をすべきか様々模索をする中で、本日の新たな提案に至りましたことをご理解賜りますようお願いを申し上げます。

〈市民5〉

今日はありがとうございます。日曜日で私達もですけど、市長さんとか皆様も日曜日にお時間取っていただき、説明していただいてありがとうございます。

質問としては、小中一貫校の新校舎の図面を見させていただいて、放課後児童会の教室についてです。その図面を見ましたが、とても開放的で、2部屋、3部屋仕切りが

ないような状態。一見よさそうに見えるが、今は障害があるお子さんすごく増えてきており、そういうお子さんが2部屋、3部屋が解放されていると、落ち着かなくてどこに身を寄せたらいいかわからない状態だったり、音がすごく反響することでヘッドホンしていてもしんどいとなったりもするので、もう設計は先ほど言われてたように基本的なことは決められてはいるんでしょうけど、ちょっと扉をつけるとか何かそういうことだったら、図面をもう一回検討してくれるよっていう、もしそういう窓口や保護者の意見を聞いてくれる窓口があるとか、そういうのがあれば教えていただけたらなと思います。ちなみに私達放課後児童会、交野市放課後児童会連絡協議会保護者なんですけど、よろしくをお願いします。

〈市長〉

はい、児童会に関しまして申し述べます。ご指摘の件も含めてしっかり受け止めて、そこに教育委員会の者もおります。で、もう基本設計、実施設計はやっていますけれども、設計にあまり大きく影響を与えないところということで変更できないかという話は実は様々しております。例えばエアコンのところでは災害のことを考えたら、やっぱり普通の都市ガスだったら、地震があったらダメになるので、中圧ガスといって地震とかでも復旧が極めてはやい、もしくはその後も使えるものに変えられないかという話も実はしております。そういったことも含めて、市としては当然対応すべきだと思っておりますし、学童のところも最大限対応すべきだと思っております。

なお公約の中で掲げておりますとおり、学童の民営化の話に関しましては、だいぶ内部ではもめました、あんな諮問したのを取り下げてまえということを私は言いましたが、さすがにそれはできないという話だったので、一応民営化の話も全部話は潰しまして、今のところ私といたしましては、まず当然のことながら民営化についてはない。

もし一方で、最近新しく働き始めた方と、今いらっしゃる方とのやはり待遇面のところの埋められない壁があるところに関しては、早期に是正をするっていうところと、やはり管理指導的立場の人間が一定必要だと思っております。民間でやっているところのノウハウの取り入れによりまして、学童の指導員の定着であったり、人員の確保を努めていきたいと思っております。

学童の件もそうですが、市側、市長側はある程度条例とかの改正、予算の提案権を持っています。民営化だっただけでなければ議会に提案をしないというやり方で何ら

に対応ができる。ただ学校の件はちょっと話が別で、もう既に提案が済んでいて議会で議決も出るので、それをどうするのかということは本当に難しい。そこは、私が裏切ったのか、言っていること違うじゃないかと言うのではなくて、じゃあどうするんだってという話はやっぱり皆さんと、ここは知恵を出し合って解決すべき問題だとは思っております。話もそれるところもありましたが、当然学童のところについては約束でございますので、しっかりとその部分は守り通したいと思っております。

〈市民6〉

市長さんだいぶ色々お話もいただいて、考えも変えないし、これから変えることはない。ただ、現状の厳しさをお話いただいて、すごくよくわかりました。

ただ、公約として訴えてもこられているし、そのお考えが変わらないということであれば、2月、3月、これ申し訳ないですけど、僕は市議会の動きとかも一市民なのでわからないんですが、今後例えば公約通りの訴えを提案されて、議会で揉むっていう形であれば、すっきりしますし、そうすべきであると思うんですけども、これ例えば小中一貫それから長寿命化も含めた新たな提案という三つのどれかで選ぶっていうところにあると思ってしまう。その辺について、議会で市長さんの訴えをそのまま出されたらいいかなと思います。

それからこの資料を見たらやっぱり期間は延びるけども、長寿命化がデメリット少ないかなと思いますが、その辺の2点について質問です。

〈市長〉

今後のところについては、少しややこしいところがありまして、というのも2月15日に議会運営委員会が開かれて、議会といたしましては正式に議案とかが出てきます。それよりも前に、一旦こんな感じというのを議員の方に、実は内示みたいなのはありますが、それはあくまでももちろん守秘義務みたいなものもあります。2月15日の議会運営委員会で一定示すわけでございますけれども、その時点で内容が全部オープンになるかというといえば、そうではなくて、また別途、その後2月末に議会が開かれ、その中におきまして、初めて議会にて予算とかそういった議案が、議会に上程されるわけでございます。

従いまして、この説明会の段階におきまして、私もしくは教育委員会が、市がどうするのかっていうのは、具体的に話すっていうことは制度上困難となっております。

す。ただ、少なくとも私が言えることとしては、やはり判断のところは議会に求めることになるのかなと考えておりますし、おそらく小中一貫校に反対の方から、意思表示が必要となる条例改正案等も出てくるのではないかなと考えております。

〈市民7〉

4ページについてです。義務教育学校での行事および教員や管理職について書いてあります。9年間の義務教育学校になるということは、構成は校長1名、教頭1名というようになるんですね、保健の先生と。そうしたら、ここの文章では副校長や教頭は複数人ってありますよね。保健の先生は書かれてないですけど。これは当面の間のことでしょうか。いずれ教頭先生なんかも1名となるのかということが一つ。

今度はそういう中でいくなれば、子どもたちの発達、少し前に質問された方がおっしゃったみたいに私も気になります。発達ということが、6年生でも卒業式や修学旅行はなくなり、それに代わる行事を行うと書かれています。それがどういうことなのか、もうちょっと詳しく市教員の先生に話していただきたい、皆さんそのところわからない。

それから例えば今だったら集団登校で小学生は6年生が連れて行っていますが、あの登校なんかは中学3年生が連れてくるのですか。何かイメージがわからない。この村中の道の細い狭いところを、どうやって雨で傘をさしてるときとか、大きな荷物持っている中学生と小学生が行くときに大丈夫かな、とかいろいろ思います。心配しています。だから通学路のことも道を広げるなり、そういうこともゆくゆくは考えていただきたいと思います。

〈市長〉

義務教育学校っていうのは、多分おそらく元々施設一体型小中一貫校という話で、前市長のときも話が出ており、ある日突然義務教育学校という話が出て、何なのかって思われた方も多いと思います。国庫補助金の関係もあって、市として考えたところもあるとは思っております。

ただ、できる限り小中の一体性を高めることによって、9年間でまとめた教育ができないかっていうこともあり、ただ一方で完全にビシッと分けてしまうと、そのメリット・デメリットも両方消えてしまうというところで、なかなか難しいところではありますが、そこは皆様、義務教育学校は小中一貫校とどう違うのかとか色々な懸念もあ

らと思っております。様々な声に耳を傾けて適切な対応を、これからも、この案になるのであればという前提ではありますが、取っていきたいと思っております。

人員に関しましても校長、副校長もいますし、教頭もいます。1回決めて、当然義務教育学校と仮になったとしても、そんなすぐに人員削減とかいったことは当然ないでしょう。私があるときは市長であるならば、そういった判断は当然しないものであると考えております。登校に関してですが、現在、みらい小学校となりまして、交野小学校と旧長宝寺小学校とが一体となっております。もし仮に、施設一体型小中一貫校にて令和7年4月となりますと、旧交野小学校の子どもたちについては従来の学校にそのまま通うこととなりますので、ここでちょっとおさえておきたいところとしては、過去に中田仁公交野市長の時代に通学の見守りに関しては公費でやっていたところを財政の関係でやめました。ただ、そのときに交野市内で唯一交野小学校だけ完全に見守りやめました。一方で長宝寺小学校は本当に梅ヶ枝とかが中心になって相当手厚い見守りをやっております。

今回、施設一体型小中一貫校の話があつて、交野小学校と長宝寺小学校が一緒になりました。そして今回5ヶ所、市で公費の投入をして、見守りを実施し、さらに地域の方も3年間つくということで立ってやっておりますが、おおよそ交野小学校の校区内の子どもたちについては元の状態に戻るものであると考えており、それによって何か通学の危険性が以前の交野小学校時代に比べて上がるということはないものと考えております。

なお、梅が枝地域や私部西の一部地域による旧長宝寺小学校に通学をされていたところについては、これから近隣の、もし3案という話になってまいりますと、当然速やかに様々話し合つて対策は考えていかないといけないでしょうし、来年度の予算からまずは各小学校区で1ヶ所は公費で見守りをするようになっております。そのころになったら1ヶ所といわず2ヶ所とかそういった考え方もあるかなと思っておりますけれども、一定市としてもそういう通学の対策については様々な検討をしていきたいと思っております。

どうしても梅が枝とかであれば、近隣の郡津小学校の方が近いじゃないかと、元々郡津小も通っていたという話も聞いておりますので、そういった意見も耳を傾けながら様々検討し、学校選択制も一部できないかといった検討もしていきたいと思っております。

〈市民8〉

この内容を聞かせていただき、これを踏まえてなんですけども、交野市の子どもたちといたら、これから市を盛り上げていくような市民。どういった子どもたちを育てていくのか、どういった教育の理念があるのか、そこが僕はすごい気になる。

色んな話で色んなことを検討してくださっているのは、非常にありがたいです。僕も娘がいます。来年から小学校行きます。色んな子どもたちの未来のことを考えて、色んなことを検討してくださっているというのは非常にそう思っているんですけども、今どんどん出てくるのが、どういった子どもたちの未来の目的ではなくて、手段ばかり話をされて、目的があって手段はあります。その手段がばかりの話ではなくて、どういった子どもたちの未来を描いていくのか、どんなふうなことを考えているのか。それを僕はすごい聞きたいです。

色々な小学校、中学校一体になっている事例はいっぱいあります。私学の小・中学校一体だっていっぱいあります。そこには絶対に教育理念があります。どういった子どもたちを育てるために一体にする、プールが必要、プールはいらない、プールを別のところで作る、グラウンドの大きさ、目的があって手段がありますよね。どういった子どもたちを市長は考えているのかなということをすごく聞きたいと思います。

〈市長〉

本市の抱える課題といたしましては、交野市内で小、中学校出ました。高校にいるまでは割と交野にいてくれる。ところが大学進学、もしくは就職に伴い、市外に転居されて戻ってこられない方が非常に多いという大変深刻な問題があります。

できましたら交野市でより良い教育を受けて、交野にやはりこれからも住みたい、そしてまた仮に出て行ったとしても、やはりこの交野の土地で子どもは育てたいと思えるような、いい学校をつくりたい。

そして学力もそれなりに高い地域でございますので、より高めて、より他の地域からも子どもを通わせたいと思う方が転入してくるような学校を作っていきたいと思っております。そうした中で課題といたしまして、私はハード面についてすごく気にはしております。

今回、一貫校であろうが、分離型になろうが、いずれにせよ一中校区の学校は綺麗にはなりません。ところが、他の校区につきましては、まだまだ市の財政も土地開発公社絡みの借金が140億あり、ゴミ処理場の借金もあるため10年間は非常に厳しい。その

中でどうハード面を綺麗にしていって、少なくともこんな学校には通いたくない、トイレに行きたくないとか、そういったところについては避けなければならないと思っております。

またあわせて、子どもの学力のところで私がちょっと懸念をしていることは、やはり一部の地域、学校においては、学校に朝ご飯を食べずに通っている子どもの割合が高い学校が多い。いろんな課題もあってだと思いますが、その問題を何としても解消していきたいと思っております。結果的に交野市全体の学力を高めていき、より多くの市民の方が今後も住みたい。また、他市の方もこちらに転入したい、教育も売りとなるようなまち作りをしていきたいと思っております。

現状におきまして、交野市への転入理由のところ、一定交通の利便性は高いが、土地の価格が比較的安くて、それなりにいい環境にあり一軒家を買えるということで、転入をされてこられる方が非常に多い。ただ一方で、学校が目的で、転入したいということは、非常に少ないのが残念ながら現状です。一貫校に関して、私は小中一貫よりも中高一貫の方が学力、大学の進学という観点で、はるかに優れていると思っております。むしろ小中一貫でやってしまったら、まして施設一体型でやってしまったらそちらの面での弊害が出るのではないかなと、私は大変懸念をしているという立場のものでございます。

#### 〈市民9〉

市長が選挙公約で5つ掲げて、その中の3番目に、小中別々の整備を公約で掲げて、公約というのはできるものもあれば、できないものもあると思うんです。小中一貫校の問題は市長が言っているように、もう既に前の黒田市長のときに契約も行われて交野小の解体も進められてという時期に来ている。議会の中においても、小中一体を進めていくという議員が多かったという状況の中で、この公約を掲げて取り組んできたので、中にはできないことも出てくるというのは、これは当然のことだと思います。

今回のこの中身を見せてもらって新たな提案と言っているけれども、これは小中一体なのか、小中別々なのかという分類でいえば、これ小中一体のところを少しグラウンドを広げたという提案。これ大きく分けたら、小中一貫教育やと、小中一貫校だと、そこを少し変えてきたということだと思っております。だから、できなかったということを明確にしながら、なんでできなかったのかということも、もちろんデザイン

ビルドや市議会の問題もあるだろうし、そういうことでできなかったのであれば、公約を掲げましたができませんでしたということが、市長に必要じゃないかなと。

その原因はこういうことでできなかったんですということで、市民の皆さんにやっぱりお知らせする。そうじゃなかったら、公約違反だみたいなことを言ってもらいたくない、みたいなところから出発したり、市民の理解がなかなか生まれないということになると思うので、できなかったという中で、議会の同意が得られないというのは、市長のピラの方には書いているんです。議会の同意がなかったと。

この説明会のところには、何でこうなったかという経過が何も書かれてないです。これから議会との関係も出てくると思いますが、まだ何を議案で議会に出すのか。もう今の段階で議会の同意が得られないと市長は判断していて、その上で議会に何の議案を出していこうとしているのかということ、やっぱり市民に、市長はこの間に議員といろいろ話し合いをしてきたが理解を得られなかったことは私達には見えないんです。議事録できちっとしているとかであれば見えますけども、オープンではないから、市長と議員とのやり取りの間だけだから見えないです。

実際どうなるかのところは、市民がみんなで見えるような状態の中で、この問題の決着をぜひやってほしいと思っています。

#### 〈市長〉

現時点におきましては、私は当然のことながら、小学校と中学校とは分離をすべきだとは考えておりますし、交野市長選挙に出馬を決めるときも選挙の期間中も、そして当選後、登庁して交野市議会にて所信表明をするときも、当然小学校と中学校は分離すべきだという立場で、今も変わらず、今後も変わらないという立場でございます。

議会との話でございますけれども、多分もうご存知でしょうけど、議員がこういう話をしました。それを表で書きましたって、書く人いますけど、書いている人とは今大喧嘩になっています。書かないでくれっていうことを条件でやっているのに書いて、いやこれ話が違いますよって言って、それに関しては同情してくれたように私は理解しております。

なかなか今現在進行形で、私は現時点において諦めているというわけではございませんので、その段階において市民の皆さんに、その経過を書くと、書かれた人は何書いているねんって話に当然なりますので、多分そこはなかなか議員の方でない方にはな

## 市長説明会（R5/1/29）２回目議事概要

かなか理解しにくいところもあるとは思いますが、ご理解賜りますようお願いを申し上げます。

いずれせよ、今回含めた新たな提案になろうともそうでなかろうとも、最終的にどういう経過でどうなったってところは、市民の皆様にお知らせをする義務が私にはあると思っておりますので、時期が来れば当然、市民の皆様にはお示しをしたいというふうには考えております。